松戸市立松戸

高　等　学　校

美　　術　　部

ICHIMATU ART CLUB

H29 千葉県高等学校総合文化祭美術・工芸作品展を終えて

H29.11.6(月) 午後公欠で、搬入・展示しました。他校の作品からも多くの刺激をもらいました。全国エントリーした１、２年生は惜しくも破れましたが、審査員の先生からは市松が確実に成長してきていることを言っていただきました。１年生は来年の全国エントリーに向けてのラストチャンスにかけて頑張ります。

油彩　F50号

あの日の思い出

１年　Ｙさん

＜自分の作品についての反省＞

今回で油絵を描くのは２回目だったけれど、自分の作品を描いている内に確実に上達していることが実感できました。最初は、下絵に描いているものだけを描こうとしていましたが、いかにこの絵を良くしていくのかを考えているうちに、最初に想像していた絵よりもはるかに密度の高い作品が完成できたと思います。ですが、まだまだ自分の題材に合った色使いや塗り方を把握し切れていなかったので、もっと題材選びから慎重にやっていきたいと思いました。

＜他校の作品を観ての感想＞

自分が想像していたものより、はるかにレベルの高い作品がそろっていました。特に力を入れている高校の作品は、色のコントラストがはっきりしていて、構図も工夫されたものが多く、どの作品も圧倒されました。どれも何度も写真を撮り、何度も構図を練り直したものを自分が描きたいように自由に表現していました。自分の描きたいものを思うように描くことが、人に強い印象を与えるために大切なものだ

ということがわかりました。今回、実力がまだ足りていなかった所があった反面、得られたものも大きかったので、これを生かし、次の作品につなげたいと思いました。

油彩　F50号

希　望

１年　Ｎさん

＜自分の作品についての反省＞

　迫力のある構図の絵に仕上げることができました。また、「希望」という題名に則した気持ちを絵の顔の表情に出したり、手や服に極端に陰影を付けることで、光を表現することができました。

しかし、背景の緑の色が絵具の生の色になっているところがありました。固定観念をなくし、その物の見た目以外の色を使って描けるようにしたいです。他にも全体的に同じ調子の塗り方で、遠近感があまり出せなかったように感じました。手前の物の細かいところまで粘り強く描き込む力も身に付けたいです。

＜他校の作品を観ての感想＞

　他校の作品はどれもレベルの高いものばかりで、それぞれの伝えたい想いや努力が伝わってきました。油彩の中で特に目が奪われる作品は、私の課題でもある遠近法がしっかりと使われていて、一色一色が鮮やかに出ていてとても迫力がありました。しかし、分厚く塗り重ねているわけではなく、それでも写実的に描けるのだと知り、驚きました。私の絵の課題解決のヒントになる知識をたくさん得られ、とてもよい機会となりました。

アクリル画　B1号

Artificial

２年　Ｓさん

＜自分の作品についての反省＞

　去年より時間をかけただけあって、かなり細かい絵が描けたと思います。しかし細かいだけで構図に面白みがなく、あまり目立たなくなってしまったのが残念です。最初の段階でもう少し構図を見直すべきでした。反省。

油絵に埋もれないようにしたかったのですが、かなり埋もれてしまいました。色と構図と大きさの問題。難しい。

文が暗い。

＜他校の作品を観ての感想＞

大きい油絵がたくさんあってすごいとは思うけど、もっとデザインが増えてもいいと思う。というかデザインが見たい。

油彩　F50号

今日の飼い犬

２年　Mくん

＜自分の作品についての反省＞

今回の作品は、飼い犬を描くことが一番の目的で、それを描くことが出来て良かったです。周りの背景にあたる部分は技量と時間が足りなく、少し物足りない仕上がりになってしまったが、一番の目的である飼い犬を描くことが出来たので、満足はしています。

次回の総文祭、地区展に向けて、満足のいくような作品が描けるようなイメージを膨らませ、自分の好きな絵を描けるようにしていきたいです。

＜他校の作品を観ての感想＞

他校の作品を観て一番最初に感じたことは、何故そのような描き方が出来るのだろうという疑問でした。しかし、中には作品が出来上がる過程を写真に収め、それを作品と一緒に掲示している学校もあり、とてもわかりやすく、興味深かったです。

自分が今回の総文祭で見た中で一番心惹かれた作品は、学校名は忘れたが、夕日に照らされた廊下に佇む制服姿の女子生徒がこちらを見ている「黄昏」という作品がどの作品よりも心惹かれました。写実的であり、どこか不安そうな女子生徒、それを照らす夕日が混ざり合い、自分の心を掴んだわけですね。女子生徒がかなり綺麗な顔立ちをしていたのも要因の一つです。

来年は、どのような作品が自分を魅了してくれるか楽しみにしています。

油彩　F50号

光を探して

１年　Nさん

＜自分の作品についての反省＞

今回の絵は、立体感と空気感を大切に描きました。

５０号という大きなｷｬﾝﾊﾞｽに描くのは初めてで、構図にとても悩みました。初めは全てが均一で、一つ一つが分かれて見えるまとまりのない絵のまま描き込んでしまっていました。

しかし、仕上げの段階で、全国大会に選ばれた作品を見る機会があり、自分の絵に空気感が無いと感じたことをきっかけに、自分の固定観念を無くして色を重ねていくと、少し空気感が出た絵に変えることができました。また、明度をはっきりさせることで立体感を出せるようにしました。しかし、人間を中心にしたかったけれど、猫が目立ってしまって、絵に込めた思いが伝わりにくくなってしまったと思います。

＜他校の作品を観ての感想＞

私は、迫力があり、写真を超えられるような絵を目指していましたが、総合文化祭で、他校の絵を観て、私はまだまだだと改めて痛感させられました。他校の油彩画が、一番伝えたいものを大きなキャンバスに一杯に描いていてキャンバスの大きさを感じさせず、かつ迫力がある絵で、どの絵にも目が釘付けになりました。また、沢山の色を加えているのに色が濁っていなかったことにも驚きました。

今回の経験を生かし、これからは迫力を与える構図、色を濁らせない工夫、遠近感を出すことを意識して油絵を描いていきたいです。

油彩　F50号

消しゴム落としちゃった

１年　Ｉさん

＜自分の作品についての反省＞

　私は、総文祭本番２週間前になっても全く作品が仕上がっていなかったことを反省しています。夏休みの時も、水が水らしくなく、しかも上から見ている絵なので、描けないと思いながら夏休みを無駄にしてしまい、１か月前になったころに、皆は１学期から着実に進めてこんな描き込みができているのに、私はどうなんだと自分自身に腹を立てていました。水が駄目なら魚を描こうと魚を描き、テスト期間中も使い、数か月念入りに手を入れた皆の作品ほどではないけれど、せめて総文祭で出せるレベルまで上げようと、夏休み最終日に宿題に追い込まれたように一心不乱に取り組みました。そうしたら一週間ほどで数か月分に及ぶくらい変わったので、とても安堵はしたものの、こんな期限ギリギリに追い込んで取り組んだ作品なので、皆に申し訳ないと思い、全国エントリーは断念しました。

来年こそは、期限ギリギリではなく無駄な時間をなくし、全国エントリーしたいです。

＜他校の作品を観ての感想＞

　初めて他の高校の作品を観たとき、私はただただ「同い年の人が描いている」というより、「上手な作品が飾られている場所に来た」と思っていました。それくらい同じ高校生が描いているものとは思えず、その場にいればいるほどこれは高校生が描いているんだと実感させられました。ただただ驚愕でした。ですが、作品を観ていると、絵を描く工程を説明しているボードがあり、次回油絵を描く際にすぐ実践できるような内容が説明されており、とても勉強になりました。

各学校ごとに油絵でも塗り方が違うのでとても面白かったです。

油彩　F25号

伝　達

２年　Ｎさん

＜自分の作品についての反省＞

　去年よりは自分の絵に向き合って作品を仕上げることが出来ました。二回目の油彩でしたが、一回目のときより油彩ならではの描き方や工夫の仕方を楽しめた気がします。

　来年は立体と油彩どちらにするか悩んでいますが、来年は最後の総文祭になるので悔いの無いよう頑張りたいと思います。

＜他校の作品を観ての感想＞

　年々クオリティーが上がっているなと思い、様々な良いインスピレーションを受けることができました。立体やデザイン、油彩などの多種多様な作品を観ることができ、来年の総文祭も楽しみになりました。

アクリル画　B2号

エマちゃんの楽園…？

１年　Mさん

＜自分の作品についての反省＞

作品を飾った時に、自分の作品を見て、私の絵はなんて面白味がないのだろうと思いました。同校の部員や他校の作品は今にも動き出しそうで、生き生きしていたり、引き寄せられるような作品ばかりでした。自分の作品は、時間が止まっているようで無機質な感じで、自分が最初に思い描いたものと少し違う仕上がりになりました。

さらに、うまく描けた所とうまく描けなかった所があったのもこの作品の反省点でした。

＜他校の作品を観ての感想＞

他校の作品は、生き生きとしていて、ついつい近くまで寄って、どのような描き方をしたのか、何色を使ってよい色を出しているのかを見てしまうほど引き付けられるものばかりでした。初めて聞く技法で油絵を描いたり、面白い構図だったりと、大変勉強になりました。

油彩　F30号

少　女

１年　Oさん

＜自分の作品についての反省＞

描き初めと最後では雰囲気がガラリと変わったので満足しています。テーマと背景がいまいちピンとこなかったので、途中テーマを変えたけれど、最終的には背景と少女の対比はできているので、良い作品になったと思います。しかし、地区展での作品も含め、今までの作品にはまだ私らしさがないと感じています。今回の総文祭を終え、さらにそう感じるようになりました。次回の地区展、また、これからの作品では、私らしさを探しながら制作していきたいと思います。

＜他校の作品を観ての感想＞

すべての作品を観て、私の絵柄に似ている作品がなかったので、一つ私らしさを見つけることができました。また、高校生による作品数、上手さ、色使いが違っていてとても面白いなと思いました。中には立体的な作品や、ずば抜けて上手い高校などがあり、とても驚くことが何回もありました。参考になる作品もたくさんあり、いい経験になりました。

今回、他校の作品を観て、絵を描くのに絵具だけでなく立体的にしたり、額縁に細工をしたりと、とても自由なんだと強く思いました。

油彩　30号

スルり　年　３ねんＳさん

アクリル画　B2号

Artificial３年　Ｋさん

水彩　B3号

逢魔海３年Ｏさん